

令和6年度 米国国務省職員講演会の取組

1. 取組実施の経緯

せかい部のあっせんにより、令和6年5月15日（水）に米国国務省日本語研修所から延べ4名の研修生が来校され、1年生2クラス、2年生・3年生各1クラスの計4クラス、157名の生徒が講演をうかがった。

2. 交流の具体的な内容

実施クラスや内容は次のとおりである。

校時	実施クラス	内容
1	1年9組	アメリカの文化について、日本文化の気に入ったところ
2	3年1組	日本文化の魅力について、
5	2年8組	外交官になる道と仕事の魅力について
6	1年4組	平和な社会を実現するには

3. 生徒の反応

研修生の講話・説明に対して、全ての生徒が興味を持って聴いていた。1年9組の生徒はペアで質問を考え積極的に質問していた。3年1組の生徒はグループで質問を考え、英語で質問していた。2年8組の生徒は留学するために必要な力について日本語で質問していた。1年4組の生徒は「平和な社会」を実現するには、貧困の撲滅や社会的な公平の実現が必要であることを理解した。

4. 今後の展望

今回は4クラスのみを対象とした講演であったが、来校された米国・国務省の職員の方々が日本語を使いこなすことができるため、生徒も日本語と英語を交えた質問を積極的に行うことができた。今後も、日本にいる様々な立場の方を招いた講演や出張授業を積極的に受け入れていきたい。

【講演会の様子】

